週刊 観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）

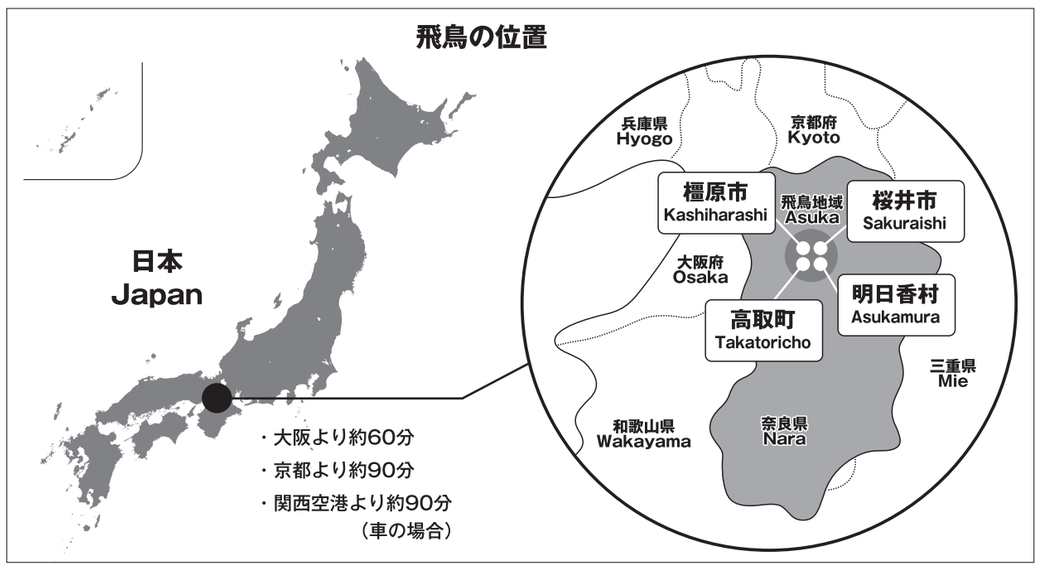
第2部

中学校教育旅行特集

「Roots of Japan!」奈良・飛鳥

歴史学習と交流体験で教育旅行を受け入れ

奈良県・飛鳥地域は、約1400年前に飛鳥京や藤原京などの都が置かれた歴史とそのロマンがあふれる地域だ。日本はじまりの地・飛鳥で「民家ステイ」による国内外からの教育旅行の受け入れが始まり、今年で7年目となった。明日香村は通称「明日香法」で景観が守られた特有の地。そこを取り巻く飛鳥地域では歴史学習や自然への理解を深めながら、同時に地域住民との交流である民家ステイにより「人と人とのつながり」を体験できる。来年3月24～26日に明日香村、橿原市、高取町、桜井市を会場として、「第14回全国ほんもの体験フォーラムin奈良・飛鳥」が開催される。全国から体験交流型観光の担い手が集う奈良・飛鳥を紹介する。



コーディネート組織

飛鳥ニューツーリズム協議会
〒634－0112
奈良県高市郡明日香村島庄5番地
（明日香村商工会館内）
TEL：0744－54－1525
FAX：0744－54－1526
E-mail：info@asukacom.jp
URL：http://www.asukacom.jp

歴史的文化遺産が点在

明日香村

明日香村とその周辺は、飛鳥時代と呼ばれる6世紀末から7世紀にかけての約100年間、日本の都が置かれ、日本の古代国家体制が形成された地域。村内には石舞台古墳、高松塚古墳、キトラ古墳、亀石、飛鳥京跡などの歴史的文化遺産が数多く点在する。また、日本棚田100選の稲渕や国営飛鳥歴史公園（5カ所）などの周囲の自然的環境が歴史的文化遺産と一体となって美しい地域を形成していることに大きな特徴がある。

棚田保全体験（案山子づくり）

石舞台古墳

明日香村では地域住民との「飛鳥民家ステイ体験」で教育旅行を受け入れている。各家庭での農業体験、家業体験、食事作り体験などでコミュニケーション能力を養うことができる。また明日香村の特徴である歴史学習体験では、受け入れ家庭と一緒に教科書にも出てくるような歴史的遺産を巡り、その説明や地域住民ならではの逸話などを聞くことができる。

また「通称・明日香法」による景観保護政策は日本国内で唯一の取り組みであり、厳しい規制の上で成り立つ「美しい原風景」の存在を生で学ぶことができる。

日本初の都城　藤原京跡

橿原市

千年の歴史が見え隠れする橿原市。大和朝廷時代には歴史の中心として、江戸時代には自由都市として栄えた橿原には、日本最初の本格的都城 藤原京跡があり、そこからの広大な眺めは格別だ。

また、重要伝統的建造物群保存地区であり、江戸時代の面影を残す今井町は散策するだけでタイムスリップしたかのような街並みが体感できる。橿原神宮のような神話と伝説が交差する神社仏閣はどこか神秘的だ。そして大和三山（畝傍山、耳成山、香具山）など日本最古の歌集・万葉集に詠まれた場所も数多くある。

橿原神宮での入村式

歴史的町並み・今井町

橿原市でも、地域住民との「飛鳥民家ステイ体験」で教育旅行を受け入れている。

受け入れ家庭での交流体験以外にも、橿原ならではの体験がある。歴史に憩う橿原市博物館や橿原考古学研究所付属博物館での考古学体験、今井町散策体験では受け入れ家庭の説明により、一緒に江戸時代の街並みを体感することができる。

日本三大山城、高取城跡

高取町

高取町には、古墳時代から飛鳥時代の遺跡が数多く残り、まさに古代史の宝庫であり奈良県の中でも特に「渡来人」たちが大陸からもたらした新しい文化が栄えた地域だ。中世の歴史的遺産も多く、高取城跡は標高583㍍の高取山の頂に残る砦のような城跡であり、日本三大山城にも挙げられている。その高取城跡からつながる土佐街道では、毎年3月に開催される「町家の雛巡り」で多くの観光客が訪れ、その情緒ある街並みを体感する。

また、高取といえば「くすりの町」として知られ、現在も多くの製薬関係事業者がいる。

涙の離村式

高取城跡

高取町においても、地域住民との「飛鳥民家ステイ体験」で教育旅行を受け入れている。

高取町も含まれる飛鳥地域では、インバウンド教育旅行の受け入れがここ数年急速に伸びている。台湾、シンガポール、マレーシア、アメリカ、オーストラリア、中国など、来訪する国々はさまざまであり、日本の生活風習や文化を受け入れ家庭の人々と一緒に共通体験することにより、素晴らしい草の根国際交流が実現している。

邪馬台国の女王、卑弥呼のロマン

桜井市

桜井市はヤマト王権の誕生から国家としてまとまっていく時代、飛鳥時代以前の古代国家成立の時代にこの根拠地となった地域であり、3世紀前半、邪馬台国の女王・卑弥呼が統治した地ではないかとも言われている。歴史的には日本書紀、古事記などに数多く登場し、飛鳥時代以前に13代もの天皇の宮が営まれた「歴史文化発祥の地」とも言われている。

箸墓古墳、纒向遺跡、大神神社、山の辺の道など日本最古と言われる歴史的文化遺産が数多く散在しているのも地域の特徴だ。

桜井市でも、地域住民との「飛鳥民家ステイ体験」で教育旅行を受け入れている。

桜井には「日本に初めて」の足跡が数多く残され、相撲の原型、力自慢の2人が初めて力比べをしたところ、最古の劇場、最古の市、最古の街道、などなど。そんな最初と最古がいっぱいの魅力的な場所で、受け入れ家庭との共通体験を育むと共に歴史舞台を体感できる。

農作業体験の様子

三輪山の朝日

”人とつながる”民家ステイ

第14回全国ほんもの体験フォーラムin奈良・飛鳥
2018年3月 24(土) 25(日) 26(月)
～ほんものの感動と歴史がここにある～
【主　催】第14回全国ほんもの体験フォーラムin奈良・飛鳥実行委員会
【共　催】全国ほんもの体験ネットワーク
【お問い合わせ】第14回全国ほんもの体験フォーラムin奈良・飛鳥実行委員会事務局
飛鳥ニューツーリズム協議会
☎0744-54-1525　Mail:info@asukacom.jp

プログラム
3月24日（土）
○全体フォーラム
（事例発表・記念講演・公開パネルディスカッション）
会場:奈良県橿原文化会館 大ホール
○情報交換会
会場:橿原ロイヤルホテル
3月25日（日）
○課題別研究分科会
会場:明日香村　橿原市　高取町　桜井市
○エクスカーションツアー
3月26日（月）
○エクスカーションツアー

【開催にあたって】
このたび、奈良県・飛鳥地域において「第14回全国ほんもの体験フォーラムin奈良・飛鳥」を開催することとなりました。
飛鳥はこの日本が形づくられた地、はじまりの地です。はじめて飛鳥を訪れた多くの皆様が感じる事が出来る「何か懐かしい…」という空気感。これは飛鳥でないと感じることが出来ません。古代から飛鳥時代に至るまで日本の中心であった奈良・飛鳥。その歴史的風土を100年後も変わらず創造的に維持、保全しようと取り組んでいる地域住民がいます。一人でも多くの皆様が「第14回ほんもの体験フォーラムin奈良・飛鳥」を通して、当地住民と交流し飛鳥を体感していただきたいと願っております。どうぞ皆様のお越しを心からお待ちしています。
第14回全国ほんもの体験フォーラムin奈良・飛鳥実行委員会

NARA IS JAPAN
知れば知るほど 奈良 はおもしろい
©NARA pref.